

令和5年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

3年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃の学習で既習の漢字を使わず平仮名で書く児童が多いなど、定着に差が出ている。学期末の漢字まとめテストでは、25%の児童が80点未満だった。 ○物語文を読む際に、心情の変化や情景を場面の移り変わりと結び付けて、読み取ることが難しい児童が多く見られる。 ○書くことにおいて、文章構成に気を付けて内容を整理して書くことが難しかったり、語彙が不足していたりいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃ノートやプリント、作文で積極的に漢字を使っている姿を適切に評価する。また、漢字を使ったミニゲームなどで漢字に親しむ機会をつくる。漢字テストでは、誤りを修正するだけでなく、その漢字や言葉の意味を改めて確認させた上で練習させる。 ○物語文の授業では、児童が情報を丁寧に整理して読み進められるように指導していく。物語を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、伝え合う活動をすすんで行っていく。 ○書き方の例を示し、構成を意識しながら書けるようにする。また、児童が様々な言葉に触れる機会をつくるために、日常的に国語辞典を使って言葉に親しむ機会をつくっていく。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習へ対する意欲があり、ワークテストで80%程度正答を得ることができているが、グラフなどの資料から必要な情報を集めて読み取ったり、知りたい情報の資料を選んだりすることに課題が見られる。 ○地図の読み方や活用の仕方が身に付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を扱う活動を通して、必要な情報を読み取ったり、資料を選んだりすることができるように指導していく。 ○地図の使い方や地図記号などを繰り返し学習の機会を設けて習熟させる。社会科の学習に限らず、日常的に東西南北を意識させたり、地図を積極的に用いたりする。 	

算数	<p>○かけ算やわり算等で、単純な計算問題には自信をもって取り組めるが、「なぜその答えになるか。」という問いや、文章問題で式を立てることに苦手意識をもつ児童が多い。</p> <p>○九九が実用的に使用できるまで身に付いていないため、応用的なかけ算の問題やわり算の計算に適応できない児童が1割程度見られる。</p>	<p>○文章問題では、児童が立式する前に問題文から重要な情報を見付けて整理したり、図や表を用いて問題場面をイメージしたりできる活動を入れる。また、問題の正誤だけでなく、途中計算や式の立て方等答えを求める過程に注目して評価していく。</p> <p>○宿題や朝学習等で九九の反復練習をする時間を設定する。覚えることに課題が見られる児童に対しては、規則性を意識させる。</p>	
理科	<p>○学習への意欲があり、ワークテストでも平均90%以上正答を得ることができている。自ら問題を設定する力が身に付いていないことが、今後の課題である。</p>	<p>○単元初めの、試しの実験の段階で、共通点や相違点を見付けやすい活動を意図的に設定し、自ら問題をつくりやすくする。個でつくった問題を共有し、「実験しやすい、結果を出しやすい問題」を見合うことで、一人一人が問題作りのポイントを理解できるようにする。</p>	
体育	<p>○どの児童も体を動かすことを楽しんでいる。体育の授業以外での運動経験に差がある。特に体力面や用具を使う運動については、経験によって差が大きい。</p>	<p>○さまざまな種類の運動を行い、適切な体の使い方を身に付け、運動の楽しさに気付けるようにする。また、体力の向上も図れるように運動量も確保する。全ての児童が運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、関連した易しい運動を取り入れたり、段階的に取り組めるようにしたりする。</p>	
総合	<p>○調べ学習を通して、問題解決学習の過程を理解したが、資料の選び方やメモの取り方、結果のまとめ方などでの課題が見られる。</p>	<p>○本や図鑑、インターネットで調べる経験を積むことで、調べることに慣れさせる。</p> <p>○過去のよくできている作品などをモデルとして見せ、参考にさせる。</p> <p>○イラストや写真などでの記録などを活用し、場合に応じた方法で効果的に共有をする。</p>	

